

世界遺産高野参詣道トレッキング  
弘法大師号下賜 1100 年記念

健脚・中級向き

約20キロ

# 黒河道・雑事のぼり

高野七口と呼ばれる参詣ルートのひとつ黒河道を歩き、橋本から峠越えを重ねて高野山奥之院に向かいます。途絶えていた雑事のぼりを今年も復活することにより、生身供の材料に使っていただく野菜などを運びます。令和2年10月、醍醐天皇が「弘法大師」の諡号を下賜されて1100年目を迎えます。

コース： 応其寺—定福寺—明神ヶ田和—市平—くどやま森の童話館—粉撞峠—転軸山森林公園—奥之院御供所

※定福寺—明神ヶ田和 迂回路あり

令和2年10月24日(土)

集合： 応其寺 7時30分

(JR・南海 橋本駅から約5分)

解散： 奥之院御供所 16時00分頃

定員： 60名 (先着順・予約制)

参加費： 1,000円 当日払い (傷害保険料・記念品・資料代等)

※ 昼食、飲み物、ハイキングに必要なもの(雨天の場合は雨具)の用意をお願いします。

万一事故が発生した場合、加入傷害保険の範囲内での補償となりますのでご了承ください。

申込： 次の事項に同意の上で申込みください。

1, 風邪症状(咳、発熱等)の方(同居者等を含む)は参加できません。2, 受付時には、マスクを着用ください。3, 検温を実施します。4, 感染による疾病等に責任を負いません。

電話、E-mailのいずれかで住所・氏名・電話番号をお知らせください。

申込・問合せ先： 高野七口再生保存会事務局

E-mail [kouya7kuti@ares.eonet.ne.jp](mailto:kouya7kuti@ares.eonet.ne.jp) (翌日までに返信がない場合、電話連絡ください。)

電話 080-1434-0985

## 雑事(ぞうじ)のぼり

御番(判) 雑事ともいい、高野山周辺の村々にあった風習。季節の野菜・果物などを奥之院御廟に供え、寺院に贈る。当番制で各家から集めたものを「負い籠・オウヨ」に担ぎ山道を登り弘法大師に捧げた。

## 生身供(しょうじんぐ)

1日2回お大師さまの食事を運ぶ儀式。奥之院の御廟には、今も弘法大師空海が金剛定に入っているとされ、維那(ゆいな)と呼ばれる僧侶が、1200年にわたって給仕しています。V

## 諡号(しごう)

貴人・僧侶などは、その死後、生前の行いを尊んで贈る名。延喜三十一年(921年)に、醍醐天皇から「弘法大師」という諡号が贈られ、十月三十七日、奥之院御廟前にて詔勅奉告の式が執り行われました。

主催： 高野七口再生保存会 共催： 橋本観光ガイドの会

協力： 応其寺・定福寺・ふる里の山に花をの会・中島大師講・高野口町文化財研究会